

石川県医療ソーシャルワーカー協会会員の皆様
全国から応援に来て下さるソーシャルワーカーのみなさま

甚大な被害を及ぼした能登半島地震から1か月が過ぎました。この間、県協会では活動指針・具体的な活動についても会員の皆様に提示させていただきました。また先行し、1.5次避難所での被災者の方への支援を日本協会の皆さんと行っているところです。

ここで私から皆様にお願いがございます。私自身が1月末にコロナ感染し、お休みをいただきました。かなり重症でした。その間、仕事において焦燥感を抱き、被災地域の協会員や被災者の方が脳裏をめぐり、身体以上の負担を感じていました。かなりへこみました。「こんな時に・・・」と病気は仕方がないと思いつつ、眠れなかったり…。

そのような経験から皆さんにはぜひ自分の体や心から発せられる声に敏感になってほしいと思います。私たちの身体は自分たちが自覚する以上に弱っているように思います。体調についてこれまで以上に気遣ってください。

「何かしなければ」「私ができること」という気持ちを持つ皆さんだからこそ、ご自身の健康や事情を後回しにしてしまうくらいがあるかもしれません。しかしどうぞご自身やご家族を大事にしてください。

県内のSWの皆さんは被災者の方の退院と生活支援に尽力されていることと思います。今、その大事な存在が病院を不在にすることがあれば、病院スタッフの間にとっても損失です。しっかり自施設での役割を果たすことに集中していきましょう。全国から応援に来て下さるみなさん、深く感謝しております。でも体調を確認しながら、地元で大切な仕事が予定されているときは「もしもの感染」「もしもの体調を崩したら」を考慮し、時期をずらしてお越しいただきますようお願い申し上げます。

これから1年、3年、5年、10年と続く支援です。どうぞ支援活動はタイミングを見計らい、ご参加いただければ幸いです。

2024年2月5日

石川県医療ソーシャルワーカー協会 副会長 中本富美